真校魅力だよりそのの

7月14日(水)に今年度第1回目の「真室川校魅力化地域連携協議会」を開催しました。この協議会は、真室川校の魅力を地域の皆さんに知っていただき、入学者の増加を目指して様々な取り組みを進めていくため昨年度から設置されたものです。山形大学大学院中井義時教授を委員長とし、今年度の取り組み内容について検討を行いました。

今回は同校魅力化のための取り組みにおける3つの柱(5月号掲載)のうちの「キャリア教育の推進」の"インターンシップ"と"キャリア学習講座"についてお知らせします。

◆インターンシップ(職業体験) (7月5日(月)~8日(木)の4日間)

2年生17名が、公共機関や事業所のご協力をいただき、インターンシップを実施し、そのうち11 名は、真室川町内での職場体験を行いました。

生徒たちは、受け入れてくれる体験先の選定から始め、事前学習を繰り返しながら準備をしてきました。

体験当日、生徒たちは慣れない環境や作業に戸惑いながらも、精一杯仕事に取り組んでいました。 秋山牧場で4日間の体験を終えた栗田侑奈さんは、「動物が好きなので牛に直接ふれあえて良かった。仕事をしていると時間が過ぎるのが早く感じた。動物にかかわる仕事がしたいので大変参考になった」と充実した表情で感想を語ってくれました。

町外の生徒はもちろん町内出身の生徒も、これまであまり知らなかった町の産業や仕事について、 新たな魅力を発見したようでした。



安楽城保育所



秋山牧場

◆キャリア学習講座(7月5日(月))

(講師:何)ワーコム農業研究所代表取締役社長 栗田幸秀 氏)

1年生10名を対象に、「仕事と生き方」と題したキャリア学習講座が開催されました。

講師の栗田幸秀氏より、自らの取り組みや実践を基に農業の可能性についてお話をしていただき、

最後に「農業を魅力的に!世界に誇れる日本農業にしたい」と熱く語っていただきました。

講座を受講した小松彩加さんは「この先 進路を決めるとき、講師の先生の言葉を思 い出しながら頑張っていきたい」とお礼と 感謝の言葉を伝えました。

生徒たちにとって、町の農業の現状や農業に対する意識が深められた講座となりました。



講座の様子